

平成 30 年度 水道概論研修日程表

月日	時 間	科 目 (予定)
7/9 (月)	9:00~9:30	受 付【場所：波止場会館 1 階多目的ホール】
	9:30~16:50 ※昼休み休憩 1 時間を含む	開講式・オリエンテーション
		水道法等について ----- 水道事業の根幹となる水道法について、水道事業者の責任や義務などの主な内容を概観するとともに、水道事業の実施に伴う裁判例、例としての横浜市の条例の仕組みなどを理解することで、水道事業を取巻く法的問題を理解する端緒とします。
		地方公営企業法等について ----- 地方自治体が住民福祉の増進を目的として経営する企業である、地方公営企業の根拠となる地方公営企業法について、経営原則、管理者の設置などの主な内容を概観し、地方公営企業についての理解を深めます。
		地方公営企業会計制度 ----- 地方公営企業の会計制度の概要を把握します。水道事業財政の仕組みや特徴、企業会計原則、経理処理の基礎概念、損益計算書や貸借対照表など、会計制度の基礎について広く学びます。
		危機管理 ----- 各種危機事案が発生した際に、水道事業体としてどのような責任を担い、どのような対策を事前に講じておくべきか、ハード・ソフトの両面から必要となるノウハウについて、地震災害を想定した事例を中心に紹介します。
7/10 (火)	9:30~16:30 ※昼休み休憩 1 時間を含む	経営計画・水道料金体系 ----- 水道事業の経営計画が、長期的な目標から具体的な実施計画まで、どのように体系づけて策定しているのか、また、経営計画の主要な要素である財政収支見通しの作成についてなど、横浜市の事例を紹介し、基礎的な内容を学んでいただきます。 水道料金の算定基礎となる料金単価の体系について、法的根拠、主な類型とその特徴、料金算定の考え方、全国的な傾向、横浜市における現状と課題などを紹介します。
		水道事業をとりまく現状等 ----- 国内水道事業をとりまく現状と、その対応としての民間的経営手法の形態や特性、先進的取組事例について紹介します。 また、国内外水道事業の課題解決への貢献を目的として設立した横浜ウォーター(株)の事業展開についても紹介します。
		水道料金① ----- 使用開始・中止の際の料金計算方法について、他都市との比較を交えながら紹介します。 また、横浜市の検針のお知らせ、料金の徴収方法、検針・料金整理業務の委託、支払督促制度について紹介します。
		水道料金② ----- 横浜市におけるクレジットカード払いの導入経緯、収納方法の紹介や、支払い方法別の利用割合の推移、口座普及率向上に向けた取組等を紹介します。また、減免制度や基本戸数適用制度など、横浜市で実施している制度について紹介します。
		意見交換（ワークショップ） -----
		閉講式

※科目ごとの時間割詳細については調整中です。

※1日目と2日目のスタート時間が異なるのでご注意ください。

目 的 本研修会は、水道事業体等の事務系、技術系全般の職員を対象とし、水道事業運営に必要な水道関連法令や基礎知識に加え、横浜市における取組や実例を学び、実務に生かすことを目的とします。

研修対象 主に水道事業体初級職員、または水道事業に興味のある方

定 員 40名

開催期日 7月9日、10日

研修会場 未定

受講料 1名 20,600 円（消費税込み）

講 師 横浜市水道局職員

アクセス

- ・みなとみらい線 日本大通り駅より徒歩5分（徒歩約250m）
- ・JR根岸線 関内駅より徒歩15分（徒歩900m）
- ・横浜駅、桜木町駅よりバスでお越しの場合 大棧橋バス停より徒歩3分 市営バス26系統